

山形県地域防災計画の修正案に対する意見等

[令和3年10月6日]

	該当箇所	ページ	該当項目
			第3章 3 (2) 火山活動に伴い予想される現象及び被害
1	意見等	構成機関	福島地方気象台
		大きな噴石の概要「爆発的な噴火によって火口から吹き飛ばされる直径約50cm以上の大きな岩石等は、」を「爆発的な噴火によって火口から吹き飛ばされる直径約20～30cm以上の大きな岩石等は、」に修正	
	理由等 (検討経過)	気象庁が噴火警報等で用いる用語より	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第3章 6 (1)～(5)
2	意見等	構成機関	福島地方気象台
		タイトルを「〇〇の内容と発表」と統一してはどうか。	
	理由等 (検討経過)	項目ごとに違うため	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第3章 6 (1) イ 噴火予報
3	意見等	構成機関	福島地方気象台
		「予想される火山現象の状況が静穏である場合あるいは火山活動の状況が噴火警報に及ばない程度と予想される場合に発表するもの」を「火山活動の状況が静穏である場合あるいは火山活動の状況が噴火警報に及ばない程度と予想される場合に発表するもの」に修正	
	理由等 (検討経過)	現状に合わせた修正	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第3章 6 (1) ウ 吾妻山の噴火警戒レベル表
4	意見等	構成機関	福島地方気象台
		<ul style="list-style-type: none"> レベル5～3の想定される現象の「火砕流・<u>火災</u>サージ、」を「火砕流・<u>火砕</u>サージ」に修正 レベル4の想定される現象の火砕サージの後に「、」を追加 	
	理由等 (検討経過)	記述の適正化	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第3章 6 (3) 火山の状況に関する解説情報の発表と内容
5	意見等	構成機関	三浦委員
		<p>記載を下記のとおり修正すべき。</p> <p>(現在) 「現時点で、噴火警戒レベルの引き上げ基準に達していない、または、噴火警報を発表し「警戒が必要な範囲」の拡大を行うような状況ではないが、今後の活動の推移によっては噴火警報を発表し、噴火警戒レベルの引上げや、「警戒が必要な範囲」の拡大を行う可能性がある」と判断した場合等に、火山活動の状況や防災上警戒・注意すべき事項を伝えるため、「火山の状況に関する解説情報(臨時)」を発表する。 また、現時点では、噴火警戒レベルを引き上げる可能性は低い、または、噴火警報を発表し「警戒が必要な範囲」の拡大を行う可能性は低いが、・・・」</p> <p>(修正後) 「噴火警戒レベルの引き上げ基準に達していない、または、噴火警報を発表し「警戒が必要な範囲」の拡大を行うような状況ではない時点で、その後の活動の推移によっては噴火警報を発表し、噴火警戒レベルの引上げや、「警戒が必要な範囲」の拡大を行う可能性がある」と判断した場合等に、火山活動の状況や防災上警戒・注意すべき事項を伝えるため、「火山の状況に関する解説情報(臨時)」を発表する。 また、噴火警戒レベルを引き上げる可能性は低い、または、噴火警報を発表し「警戒が必要な範囲」の拡大を行う可能性は低い時点で、・・・」</p>	
	理由等 (検討経過)	「現時点」とは「現在の時点、今(いま)現在」という意味なので、「この文章の執筆時点で」ということになり不適切であるため。	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第3章 6 (5) その他の情報等の内容と発表
6	意見等	構成機関	三浦委員
		<p>「噴火警報・予報、噴火速報、火山の状況に関する解説情報、降灰予報及び火山ガス予報以外に、火山活動の状況等をお知らせするため」との記載を「噴火警報・予報、噴火速報、火山の状況に関する解説情報、降灰予報及び火山ガス予報以外に、火山活動の状況等を周知するため」と修正すべき。</p>	
	理由等 (検討経過)	前後の文体と整合させるため。	

	該当箇所	ページ	該当項目
			第3章 17 吾妻山情報共有連絡系統図
7	意見等	構成機関	陸上自衛隊第44普通科連隊
		<p>「陸上自衛隊第20普通科連隊」を「陸上自衛隊第44普通科連隊」に修正。</p>	
	理由等 (検討経過)	隊区担当部隊が44連隊であるため。	

※福島地方気象台からの意見については、仙台管区気象台・山形地方気象台・福島地方気象台で意見をすり合わせのうえ、当該3委員まとめた意見となっています。